

直径約0.27m、深さ0.12m、ピット3は直径約0.40m、深さ0.20m、ピット4は東西0.39m、南北0.55m、深さ0.22m、ピット5は東西0.55m、南北0.80m、深さ0.34m、ピット6は直径約0.27m、深さ0.13mを測り、埋土はいずれも5Y 3/2オリーブ黒色粘質土である。

遺物はピット1から土師器、ピット2から土師質土器、製塙土器、ピット3から土師器、ピット4から土師質土器、製塙土器、ピット5から土師器、黒色土器、土師質土器、ピット6から土師器、土師質土器が出土した。いずれも中世期の遺構と思われる。

第4節 鳥取南遺跡

鳥取南遺跡は、昭和63(1988)年度に阪南町教育委員会(当時)が実施した埋蔵文化財分布調査によって発見された遺跡である。既往の調査では、弥生時代後期から中世期にかけての土坑、溝等の遺構や遺物が検出されている。

(1) 17-1区 (第45~48図)

調査区は鳥取南遺跡の中央部に位置する。調査区内に2.1m×1.1mのトレンチを設定し、調査を行った。

基本層序は第1層耕作土、第2層床土、第3層2.5Y7/3浅黄色粘質土(マンガン混)、第4層2.5Y6/1黄灰色粘質土、第5層10YR6/4にぶい黄橙色粘質土(マンガン混)、第6層10YR6/4にぶい黄橙色礫混粘質土で、第5層以下は地山である。地山は地表面から約-0.40mで検出した。

遺物は第3層から須恵器、土師質土器、近世瓦、第4層から土師質土器を検出した。第3層は近世期、第4層は中世期の層と思われる。1は第3層出土の奈良時代の須恵器坏身。

遺構は検出されなかった。



第45図 鳥取南遺跡 調査区位置図



第46図 鳥取南遺跡17-1区 トレンチ位置図



第47図 鳥取南遺跡17-1区 トレンチ北側断面図



第48図 鳥取南遺跡17-1区 出土遺物

第5節 向出遺跡

向出遺跡は、阪南市の東部を流れる男里川の支流である山中川と菟砥川に挟まれた河岸段丘とその氾濫原に位置する。昭和62(1987)年度に阪南町教育委員会(当時)が行った埋蔵文化財分布調査によって発見された。遺跡は東西約300m、南北約500mと阪南市内では比較的大きい。遺跡の北部は調査件数が少ないため詳細は不明であるが、中央部で行った00-2区と06-1区の調査では、古墳時代中期の竪穴住居が各1棟確認された。南部では、平成9年に(財)大阪府文化財調査研究センター(当時)が行った国道26号線(第2阪和国道)延長工事に先立つ事前調査で、縄文時代後期から晩期の西日本最大級の土坑墓群が検出されている。また、遺跡の南部からは中世瓦が出土しているものの、寺院等に関連する遺構は現在のところ確認されていない。

(1) 16-2区 (第49~51図)

調査区は向出遺跡の中央部に位置する。調査区内に2ヶ所のトレンチを設定し、全体で 12.50 m^2 の調査を行った。

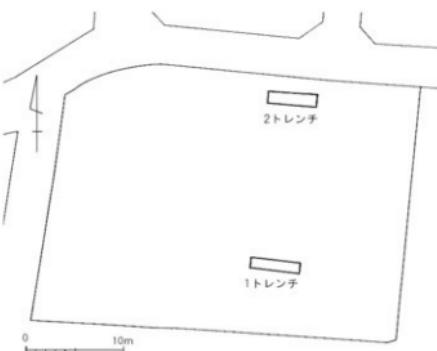
基本層序は第1層耕作土、第2層10YR6/2灰黄褐色砂質土、第3層2.5Y5/3黄褐色砂質土、第4層2.5Y4/4オリーブ褐色風化礫混土、第5層2.5Y4/2暗灰黄色礫混土、第6層7.5Y5/1灰色風化礫混粘土で、第5層以下は地山である。地山は地表面より1トレンチでは-0.70m、2トレンチでは約-0.45mで検出した。

遺物は第2層から土師質土器、瓦器、瓦質土器、青磁、焼締陶器、陶器、中世瓦、第3層から土師質土器、瓦器、瓦質土器、焼締陶器、中世瓦、第4層から土師質土器、瓦器、中世瓦が出土した。第2層は近世期、第3・4層は中世期の層と思われる。

遺構は1トレンチの地山面で落ち

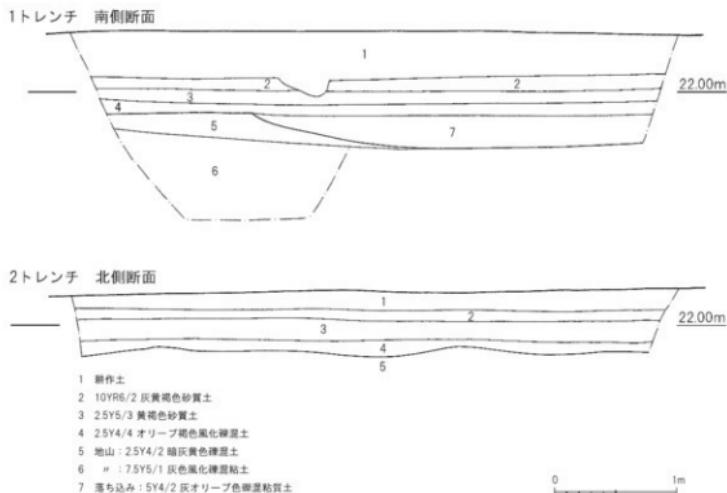


第49図 向出遺跡 調査区位置図



第50図 向出遺跡16-2区 トレンチ位置図

込みを検出した。落ち込みは深さ0.28mで西方向へ下がる。埋土は5Y4/2灰オリーブ色疊混粘質土で遺物は出土しなかったが、本調査で東西3.30m以上、南北3.20m以上を測る土坑であることが確認され、遺物も須恵器、土師質土器、瓦器、中世瓦、片岩が出土した。中世期の遺構である。



第51図 向出遺跡16-2区 1・2トレンチ断面図

第6節 自然田遺跡

自然田遺跡は、男里川の支流である菟砥川の右岸に位置し、昭和61(1986)年度の民間開発工事に伴う調査で発見された。その調査で遺構は検出しなかつたが、サヌカイト製の石器や中世期の遺物が出土している。その後の調査では、遺跡北部で遺構の検出には至っていないものの中世期から近世期の遺物が若干出土し、南部の99-1区、05-1区では弥生時代後期や古墳時代中期の竪穴住居を検出している。また、99-1区からは、多数のサヌカイト剥片とともにサヌカイト製石器が数多く出土している。

(1) 17-1区（第52～54図）

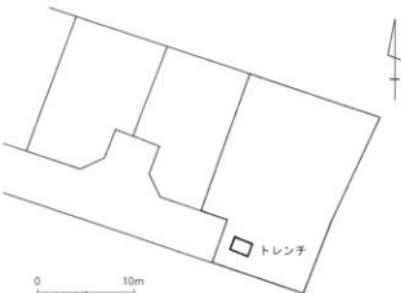
調査区は自然田遺跡の中央部に位置する。調査区の南部に2.0m×1.3mのトレンチを設定し、調査を行った。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層10YR5/6黄褐色礫混粘質土の地山である。地山は地表面から約-1.20mで検出した。

遺構は検出せず、遺物も出土しなかつた。



第52図 自然田遺跡 調査区位置図



第53図 自然田遺跡17-1区 トレンチ位置図



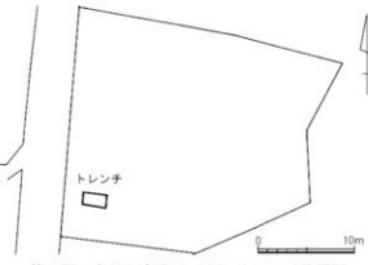
第54図 自然田遺跡17-1区 トレンチ南側断面図

第7節 寺田山遺跡

寺田山遺跡は東西約140m、南北約130mで、西部を菟砥川が南北に流れる。縄文時代の石器の採取が伝えられ、また、東に臨む玉田山古墳群と関連も想定されるが、これまでに調査例が少なく、遺跡の性格は不明である。



第55図 寺田山遺跡 調査区位置図



第56図 寺田山遺跡16-1区 トレンチ位置図

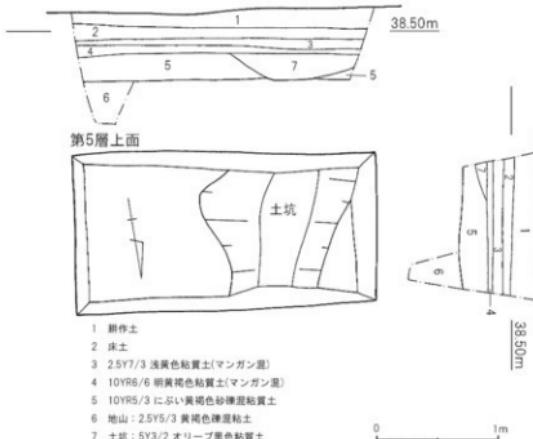
(1) 16-1区 (第55~57図)

調査区は寺田山遺跡の南部に位置する。調査区の南西部に2.5m×1.2mのトレンチを設定し、調査を行った。

基本層序は第1層耕作土、第2層床土、第3層2.5Y7/3浅黄色粘質土(マンガン混)、第4層10YR6/6明黄褐色粘質土(マンガン混)、第5層10YR5/3にぶい黄褐色砂礫混粘土質、第6層は2.5Y5/3黄褐色礫混粘土の地山である。地山は地表面より約-0.60mで検出した。

遺物は第3層から土師質土器、第4層から須恵器が各1点出土したのみで、層の時代を特定するには至らなかった。

遺構は第5層上面で土坑を1基検出した。土坑は東西1.25m、南北1.10m以上、深さ0.22mでトレンチ外へ広がる。埋土は5Y3/2オリーブ黒色粘質土で、土師器が出土したが、こちらも小片のため時代の特定には至らなかった。



第57図 寺田山遺跡16-1区 トレンチ平面・断面図

第8節 田山東遺跡

田山東遺跡は昭和63(1988)年度に阪南町教育委員会(当時)が行った埋蔵文化財分布調査によって発見された遺跡である。その後の調査では、蛸壺、土錐等、漁労関連の遺物や中国製の青磁、白磁等の輸入陶磁器が出土しているものの、遺跡の詳細な性格は不明である。平成6(1994)年度、平成25(2013)年度の調査では中世期の土師質真蛸壺焼成窯が検出されていることが特筆され、特に平成25年度の調査では8基もの窯が検出された。



第58図 田山東遺跡 調査区位置図



第59図 田山東遺跡17-1区 トレンチ位置図

(1) 17-1区 (第58~61図)

調査区は田山東遺跡の東部に位置する。調査区内に2.3m×1.6mのトレンチを設定し、調査を行った。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層床土、第4層10YR7/6明黄褐色砂質土、第5層2.5Y7/2灰黄色砂質土、第6層10YR6/8明黄褐色粘質土(マンガン混)、第7層7.5YR6/1褐灰色砂質土、第8層2.5Y6/2灰黄色砂混粘質土(マンガン混)、第9層2.5Y7/4浅黄色砂混粘土で、第9層は地山である。地山は地表面より約-0.75mで検出した。

遺物は第4層から須恵器、土師質土器、中世瓦、焼土塊、第5層から須恵器、土師質土器、瓦器、中世瓦、鉄釘、第7層から須恵器、土師質土器、瓦器、土師質真蛸壺、第8層から1の奈良時代の須恵器を検出した。第4~7層は中世期、第8層は奈良時代の層と思われる。

遺構は検出されなかった。



第60図 田山東遺跡17-1区 トレンチ西側断面図



第61図 田山東遺跡17-1区 出土遺物

報告書抄録

ふりがな	はんなんしまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいよう36									
書名	阪南市埋蔵文化財発掘調査概要36									
副書名										
卷次										
シリーズ名	阪南市埋蔵文化財報告									
シリーズ番号	58									
編著者名	田中早苗・須崎雄一朗									
編集機関	阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進室									
所在地	〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5678									
発行年月日	2018年3月31日									
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	ヨード 市町村 番号	下 遺跡 番号	北緯 。' "	東經 。' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因		
おぎさき 尾崎海岸	おぎさき 尾崎	27232	65	34 21 41	135 14 34	20170605 ～ 0606	3.51	記録保存 調査		
うま 馬川	うま 川	27232	39	34 21 23	135 15 07	20161216 ～ 1219	20.25	記録保存 調査		
うま 馬川	うま 川	27232	39	34 21 23	135 15 01	20170608 ～ 0609	3.30	記録保存 調査		
うま 馬川	うま 川	27232	39	34 21 24	135 15 01	20170612 ～ 0613	3.00	記録保存 調査		
うま 馬川	うま 川	27232	39	34 21 24	135 15 01	20170718 ～ 0719	2.94	記録保存 調査		
うま 馬川	うま 川	27232	39	34 21 31	135 15 01	20170822 ～ 0915	112.78	記録保存 調査		
ば 波 有 手	とつとり 鳥取	27232	69	34 20 55	135 14 08	20170123 ～ 0222	29.67	記録保存 調査		
とつ 鳥 取 南	とつとり 鳥取	27232	55	34 20 51	135 14 19	20171113 ～ 1114	2.31	記録保存 調査		
むか 向 出	じねんだ 自然田	27232	43	34 20 48	135 15 31	20170106	12.50	記録保存 調査		
じ 自 然 田	じねんだ 自然田	27232	35	34 20 20	135 15 30	20170621 ～ 0622	2.60	記録保存 調査		
てら 寺 だ 田	じねんだ 自然田	27232	7	34 20 11	135 15 23	20170201 ～ 0202	3.00	記録保存 調査		
た 田 やま 山	はこべぐり 箱作	27232	58	34 20 10	135 12 34	20170919 ～ 0920	3.68	記録保存 調査		

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
尾崎海岸	集落跡 生産遺跡	近世期	土坑	土師質土器、製塙土器、土師質真蛸壺、陶器	
馬川	散布地	中世期～ 近世期		土師器、須恵器、黒色土器、土師質土器、瓦器、白磁、焼締陶器、製塙土器、土師質真蛸壺 土師質有孔土錘、土師質有溝土錘、中世瓦	
馬川	散布地	中世期		土師器、須恵器、黒色土器、土師質土器、瓦器、青磁、焼締陶器、製塙土器、中世瓦、サヌカイト片、スサ入り焼土塊	
馬川	散布地	中世期		弥生土器、須恵器、土師質土器 瓦器、青磁、製塙土器、土師質真蛸壺、サヌカイト片、スサ入り焼土塊	
馬川	散布地	中世期		須恵器、土師質土器、瓦器、中世瓦、スサ入り焼土塊	
馬川	散布地	古墳時代～ 中世期	掘立柱建物、 竪穴住居、 土坑、ピット、 溝	土師器、須恵器、黒色土器、土師質土器、瓦器、瓦質土器、須 恵質土器、青磁、白磁、焼締陶器、製塙土器、滑石製糸錘車 土師質真蛸壺、土師質管状土錘 土師質有孔土錘、中世瓦、和泉砂岩製石器、サヌカイト片、砥 石、片岩、鉄釘、鉄滓、輪の羽 口、スサ入り焼土塊、炭化木片	
波有手	散布地	中世期	ピット	土師器、須恵器、黒色土器、土 師質土器、製塙土器、土師質有 孔土錘、中世瓦	
鳥取南	散布地	中世期～ 近世期		須恵器、土師質土器、近世瓦	
向出	散布地	中世期～ 近世期	落ち込み	土師質土器、瓦器、瓦質土器 青磁、焼締陶器、陶器、中世瓦	
自然田	散布地				
寺田山	散布地		土坑	土師器、須恵器、土師質土器	
田山東	散布地	奈良時代～ 中世期		須恵器、土師質土器、瓦器、瓦 質土器、須恵質土器、土師質真 蛸壺、土師質管状土錘、中世瓦 鉄釘、焼土塊	